

平成 26 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレッドみわ・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市門屋字野崎95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,343,771円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造2階建 ◇敷地面積:1,846.75㎡ ◇延床面積:674.92㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障害者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

●利用状況

		H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,954	11,041	8,416	11,063	9,973
	移動児童館利用者数	884	727	868	506	838
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	23	12	21	10	18
	開館日数(単位:日)	151	156	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、常勤職員2人、非常勤職員1人。(児童厚生員3人) ③広報誌を毎月発行し、小学校・幼稚園・保育所・公民館・コミセンに配布、児童館ホームページを月2回更新、職員ブログの更新、ぶりあネットにリンク。 ④壊れたおもちゃについての苦情があり、直ちに修理を行った。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②おもちゃの消毒、玩具・遊具の毎月の定期点検 ③使用していない部屋の消灯とエアコンの停止の他、節水を実施。廃品を利用した工作。 ④専門業者による野外遊具の年1回の点検、遊具等の安全な配置と管理の検討。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については、指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 不審者情報の広報、避難訓練の月2回実施、消防訓練を年1回実施、危機マニュアルの徹底。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	1. 平成27年2月12日に幼児クラブに参加の保護者にアンケート(無記名)を実施 回答者21人(回答率100%) 2. 平成27年2月10日～2月15日にセンターを利用した小学生にアンケート(無記名)を実施 回答者29人(回答率100%)
利用者アンケートの実施結果	1. 保護者アンケート ○職員について ・あいさつ 満足86%、ほぼ満足14% ・言葉遣い 満足81%、ほぼ満足19% ・対応 満足71%、ほぼ満足24%、普通5% ○施設について ・整理整頓 満足86%、ほぼ満足9%、普通5% ・使いやすさ 満足71%、ほぼ満足19%、普通10% 2 小学生アンケート ・児童センターのすきなところ・たのしかった行事(上位3つ) ゲーム21人、卓球18人、ドッジボール16人 ・児童センターにあそびに来ることができる曜日 火曜日4人、水曜日4人、木曜日5人、金曜日2人、土曜日26人、日曜日22人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	要望 ・障害者センターの人との交流があっても刺激になって良いと思う。 ・いつでも利用しやすい雰囲気でおもちゃもいっぱいあるので助かります。 ・おもちゃつき、夏まつりなど親子で参加できるイベントがたくさんあると嬉しいです。お母さんが参加できるイベント(昔のような製作やフラワーアレンジメントなど)を復活させてほしいです。おべんとうやおやつなど、食べれる場所があるといいな。(おやつ、こっそり食べている人がたくさんいて、子どもが食べたがるので)下の部屋が寒いので暖房があるといいです(2人)。2階フロアーにもあったら最高。 ・お昼を食べれるようにしてほしいです(2人)。クラブの時にオススメの本とかの紹介をして欲しいです。ふれあい牧場、親子で料理教室。 ・トイレに子ども用のイスがあるといいです。(一緒にいる場合に)。職員の方がいつも笑顔で接していただき利用しやすいです。 ・1階にもオムツ交換台がつけば(女子トイレにも)もっとよかったです。2階のマットがボロボロなのでかえてほしいです。木のおもちゃとプラスチックのおもちゃのバランスがとても良い児童館だと思っています。毎週こちらに来ることか私の息抜きにもなって、とても居心地がよいです。いつもお世話になりありがとうございます。 ・駐車場からの道のりで、子どもがひとりで走ってくる子がいますが本当に怖いです。もし何かあった時にサンフレンド側のせいになってしまうので、絶対手を離さない事をくり返し伝えていかなければ・・・と思います。私も気づいたら話します。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	利用者に対する声掛けやあいさつを心がけ、楽しく遊ぶことが出来るように取り組んだ結果、利用者の方々も笑顔で返していただいているので、よかったのではないかと思います。環境設営にも注意をし、衛生面にも気をつかい、よりよくすごしてもらえたのではないかと思います。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	小学生アンケートや日常の会話で聞いた好きな行事を積極的に取り入れ、また、おもちゃも取り入れて来館しやすい状況を作りました。 また、友達作りにも取り組み、所属校に関係なく一緒に遊ぶことが出来るようにしました。
今後の取組み	季節的な要素を取り入れた取り組みや、おもちゃの見直しをすると共に、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知るふれあいを重視した取り組みをしていきたいと考えています。 また、子ども達に自ら考える力を醸成できる企画を提案し、利用者に新たな児童館活用を促したいと思います。

●所管課の意見

<p>毎月の「おたより」を担当校区全児童への配布のほか、幼稚園、保育所、公民館、コミセンなどにも配布、また、ホームページを月2回更新するなど、積極的な広報活動に努めている。</p> <p>利用者アンケート調査や日常会話から要望を把握し、好きな行事やおもちゃを積極的に取り入れ、来館しやすい状況をつくり、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p>地域のボランティアが施設内にミニ鉄道を敷設した「箱庭鉄道」や、餅つきを障がい者センターと共同開催で行い、児童センターの利用者と障がい者センターの利用者との交流を図るなど、施設の特性を活かした行事を実施している。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p> <p>児童センターを利用する子ども達と障がい者センターの利用者との交流活動を今後も積極的に実施していただきたい。</p> <p>駐車場の増設など施設に関する要望は対応に限界がある。駐車場については、自転車や徒歩の利用を促すなど利用者に工夫してもらうよう呼びかけることも必要である。</p> <p>また、他の施設での取組みは参考になる事例が多いと考えられるため、施設間でデータや事業内容等の情報を共有し、施設運営に取り入れるなど役立てていただきたい。</p>
--